

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年6月13日(2019.6.13)

【公開番号】特開2016-216448(P2016-216448A)

【公開日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-069

【出願番号】特願2016-94581(P2016-94581)

【国際特許分類】

C 07 F	15/00	(2006.01)
C 09 K	11/06	(2006.01)
H 01 L	51/50	(2006.01)
F 21 V	33/00	(2006.01)
F 21 V	23/00	(2015.01)
F 21 S	2/00	(2016.01)
F 21 Y	115/15	(2016.01)

【F I】

C 07 F	15/00	C S P F
C 09 K	11/06	6 6 0
H 05 B	33/14	B
F 21 V	33/00	4 0 0
F 21 V	23/00	1 1 0
F 21 S	2/00	4 8 0
F 21 V	33/00	1 0 0
F 21 Y	115:15	

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月7日(2019.5.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

中心金属と、

前記中心金属に配位する第1乃至第4の配位子と、を有し、

前記第1の配位子は、トリアゾール骨格を有し、

前記トリアゾール骨格は、前記中心金属と結合する窒素を有し、

前記第2の配位子は、前記中心金属と6位で結合するインドロ[3,2-b]カルバゾール骨格もしくは前記中心金属と6位で結合するピリド[2,3-b:6,5-b']ジインドール骨格を有し、

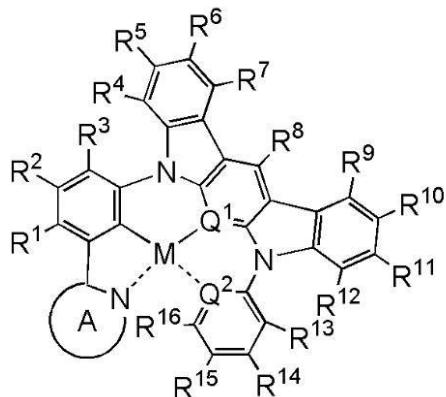
前記第3の配位子は、前記中心金属と炭素とが結合するベンゼン骨格を有し、

前記第4の配位子は、前記中心金属と窒素とが結合するピリジン骨格もしくは前記中心金属と炭素とが結合するベンゼン骨格を有する有機金属錯体。

【請求項2】

式(G1)で表される有機金属錯体。

【化1】



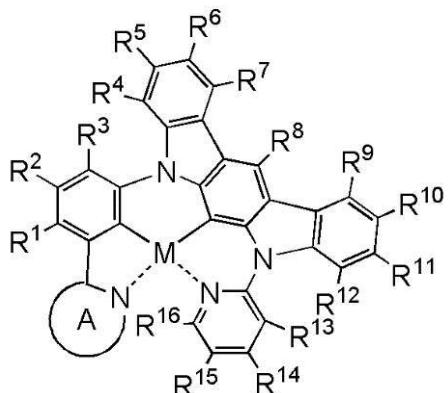
(G1)

(式中、Mは、PtまたはPdを表し、R¹～R¹⁶は、それぞれ独立に、水素、炭素数1～6のアルキル基、又は炭素数6～13の置換もしくは無置換のアリール基のいずれかを表し、Q¹またはQ²の一方が窒素を表し、他方が炭素を表す。また、環Aは、トリアゾール環を表す。)

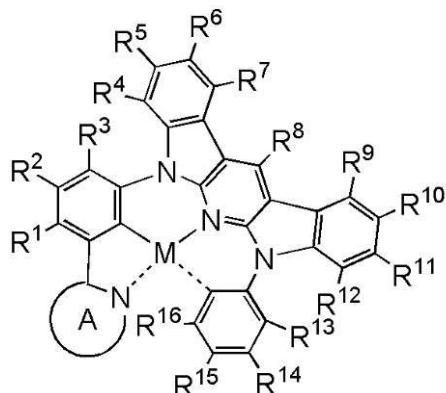
【請求項3】

式(G1-1)または式(G1-2)で表される有機金属錯体。

【化2】



(G1-1)



(G1-2)

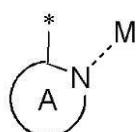
(式中、Mは、PtまたはPdを表し、R¹～R¹⁶は、それぞれ独立に、水素、炭素数1～6のアルキル基、又は炭素数6～13の置換もしくは無置換のアリール基のいずれかを表す。また、環Aは、トリアゾール環を表す。)

【請求項4】

請求項2または請求項3において、

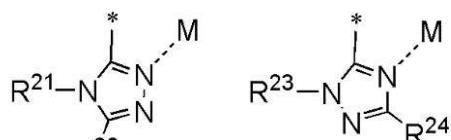
前記環Aを式()で表すとき、前記式()は、式(- 1)～(- 4)のいずれか一である有機金属錯体。

【化3】

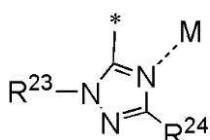


(α)

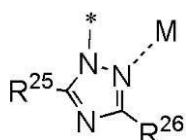
【化4】



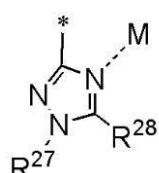
(α-1)



(α-2)



(α-3)



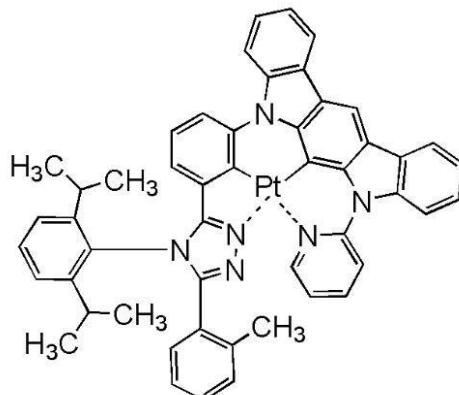
(α-4)

(式中、R²¹～R²⁸は、それぞれ独立に、水素、炭素数1～6のアルキル基、又は炭素数6～13の置換もしくは無置換のアリール基のいずれかを表す。)

【請求項5】

式(100)で表される有機金属錯体。

【化5】



(100)

【請求項6】

請求項1乃至請求項5のいずれか一に記載の有機金属錯体を用いた発光素子。

【請求項7】

一对の電極間に発光層を有し、

前記発光層は、請求項1乃至請求項5のいずれか一に記載の有機金属錯体を有する発光素子。

【請求項8】

一对の電極間に発光層を有し、

前記発光層は、3種以上の有機化合物を有し、

前記3種以上の有機化合物のうち一は、請求項1乃至請求項5のいずれか一に記載の有機金属錯体である、発光素子。

【請求項 9】

請求項 6 乃至 請求項 8 のいずれか一に記載の発光素子と、トランジスタまたは基板と、を有する発光装置。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の発光装置と、マイク、カメラ、操作用ボタン、外部接続部、または、スピーカのいずれか一と、を有する電子機器。

【請求項 11】

請求項 9 に記載の発光装置と、筐体またはタッチセンサと、を有する電子機器。

【請求項 12】

請求項 9 に記載の発光装置と、筐体、カバー、または、支持台のいずれか一と、を有する照明装置。